

事業名	当初予算額 (前年度予算額)	説明
警察運営費	1,077,707 (1,233,096) 国 951 使 171,898 財 23,347 諸 45,538 ⊖ 835,973	1 犯罪被害者への支援強化事業 4,674 (1) 犯罪被害者等への支援 2,142 身体犯罪被害者にかかる初診料、性感染症等検査費用、再診料、診断書経費等を公費負担するとともにカウンセリング等を行い、被害者やその家族等への支援を強化する。 重(2) 犯罪被害者支援強化 2,532 生命のメッセージ展を開催し、犯罪被害者への支援の充実や、児童虐待等の被害児童からの事情聴取時における負担軽減施策を実施し、被害者の精神的、経済的負担の軽減を図る。
装備費	490,179 (945,244) 国 156,127 起 14,300 ⊖ 319,752	1 警ら用自動車等の更新整備 49,700 警察活動の基盤となる警察車両の計画的な更新整備を図るため、警ら用自動車(白黒パトカー)や水難救助車等の更新整備を行う。

事業名	当初予算額 (前年度予算額)	説明
警察施設費	1,821,836 (1,624,940) 国 369,830 財 41,103 繰 1,135 起 1,337,200 〇 72,568	1 草津警察署移転新築整備 1,259,779 <p>老朽・狭隘が著しく、耐震基準を満たしていない草津警察署の移転新築整備に伴い、移転先用地の造成及び新庁舎の建築工事を行う。</p> 2 運転免許センター新築整備 341,297 <p>老朽・狭隘が著しく、耐震基準を満たしていない運転免許センターの新築整備に伴い、別館等改修工事及び現庁舎解体工事を行う。</p> 3 交番・駐在所の新築整備 30,550 <p>地域防災の拠点となる県下全ての交番・駐在所のうち経年劣化による老朽化が著しい1施設を新築整備する。</p>
刑事警察費	532,170 (525,661) 国 18,357 使 36,934 〇 476,879	①重 1 子ども安全対策事業 463 <p>子どもを犯罪や交通事故から守るため、各種防犯ボランティアへの活動支援を実施する。</p> ②新重 2 働き盛り世代特殊詐欺被害防止スキルアップ事業 626 <p>働き盛り世代から高齢者に特殊詐欺被害防止の注意喚起を促すため、働き盛り世代に特殊詐欺の理解を深めるロールプレイング方式の研修会や、特殊詐欺被害防止検定等を実施する。</p>

事業名	当初予算額 (前年度予算額)	説明
		<p>③ 在留外国人等の安全確保に向けた総合対策事業 1,470</p> <p>在留外国人等の増加の情勢に対応するため、警察署等に翻訳機を配備するとともに、総合的な啓発活動を実施し、在留外国人等が安全に暮らせる環境の整備を図る。</p> <p>4 県民を特殊詐欺から守る安全安心コール事業 3,964</p> <p>悪質・巧妙化する特殊詐欺から県民を守るため、ICT（情報通信技術）を活用したオートコール業務委託や集中架電システムにより、効果的かつ効率的な対策を推進する。</p> <p>5 安全・安心なサイバー空間構築推進事業 1,475</p> <p>サイバー空間の浄化等を目的としたサイバーボランティアの活動を積極的に支援し、社会全体でサイバー空間の脅威に立ち向かう気運を醸成するとともに、サイバー犯罪への捜査力を強化して、安全・安心なサイバー空間を構築する。</p>

事業名	当初予算額 (前年度予算額)	説明
交通指導取締費	1,937,744 (1,761,011) 国 325,079 使 307,224 諸 124,939 起 334,700 〇 845,802	<p> 重 1 子ども安全対策事業 25,630 子どもを犯罪や交通事故から守るため、通学路や未就学児等が利用する道路における可搬式速度違反自動取締装置を利用した交通取締りを強化するとともに、「交通事故発生マップ」の公開や各種ボランティアへの活動支援を実施する。 </p> <p> 新重 2 高齢運転者交通事故防止対策事業 880 多発する高齢ドライバーの交通事故防止対策として、運転技能自動評価システム（オブジェ）を活用した講習会を実施するとともに、講習会で得られたデータを分析して高齢運転者の特性を研究し、高齢運転者の交通事故防止を図る。 </p> <p> 3 高齢者交通安全対策事業 1,754 高齢者の交通事故発生が予測される地域を「思いやりゾーン」として設定し、総合的な交通事故防止対策を展開する。 </p> <p> 4 補助交通安全施設整備費 608,241 (1) 交通管制センターの整備 96,507 交通の安全と円滑化を推進するため、集中制御機や情報収集装置の更新等を行う。 </p> <p> (2) 交通信号機の整備 268,888 交通規制の効率化や高齢者等交通弱者の安全を図るため、信号機の新設及び視覚障害者用付加装置の設置等の信号機改良整備を行う。 </p>

事業名	当初予算額 (前年度予算額)	説明
		<p>(3) ゾーン・通学路対策事業 176,918</p> <p>生活道路における歩行者等の安全対策として、区域内の最高速度を30kmに規制する「ゾーン30」を実施するとともに、通学路や未就学児等が利用する道路においては、横断歩道等の整備を中心とした道路標識標示の整備を行う。</p>
		<p>(4) 円滑化対策事業 10,044</p> <p>慢性的な交通渋滞の解消を図るため信号機の改良を行う。</p>
		<p>5 単独交通安全施設整備事業 319,653</p>
		<p>(1) 交通信号機の整備 105,573</p> <p>信号機の移設や信号灯器の更新整備等を行う。</p>
		<p>(2) 道路標識・標示の整備 154,363</p> <p>道路標識・道路標示の新設及び更新を行う。</p>
		<p>(3) パーキングチケット発給設備整備経費 9,724</p> <p>パーキングチケット発給設備の撤去を行う。</p>